

# 平成29年度実績に係る部局評価書

部局名: 数理・データ科学教育研究センター

【評価区分1】 部局年度計画に対する 達成状況評価	【評価区分2】 「全学的に重視する指標」 に係る実績評価	【総合評価】 評価区分1及び 評価区分2に係る評定
S	A	S

## 【評価区分1: 部局年度計画に係る自己評価に対する項目別評価】

項目	評定	コメント(評定に至った主な理由)
【教育】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【研究】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
		学部教育を担う2つのユニットを新設し、ユニット教員が中心となって、ソフトウェア講習会・セミナー・異分野連携ワークショップを開催するなど、数理・データ科学教育の本格化に向けた取組を行ったことが評価できる。
【社会貢献】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		産学連携教員の新規雇用および学部ユニットの新設に伴い学内外に向けたワークショップの開催件数が増加したこと、また大阪府・大阪市とデータ活用で連携を開始したことが評価できる。
【グローバル化】	A	平成29年度計画の達成状況が良好である。
【業務運営】	S	平成29年度計画の達成状況が優れている。
		平成29年度概算要求共通政策課題分「数理・データ科学の教育拠点形成」が採択されたことに加え、産学連携を積極的に進めることで、企業との共同研究が2件増加し、競争的資金獲得件数が6件増えたことが評価できる。

## 【評価区分2: 「全学的に重視する指標」に係る実績評価】

<p>【評価コメント】          常勤教員一人あたりの科学研究費補助金応募件数について、前年度実績から低下しているものの積極的な応募が認められる。          また、常勤教員一人あたりの競争的資金(科研費以外)及び常勤教員一人あたりの共同研究・受託研究について、意欲的に取り組むことで実績を上げたことが評価できる。</p>
--